

せいしょう 青翔

第194号

◆青年部ニュース◆ 発行 北大阪商工会議所 青年部 広報委員会

<http://www.kitaosaka-cci.go.jp/yeg/>

親睦委員会 事業報告

親睦委員会 委員長 坂榎俊哉

親睦委員会では今年度の事業として、「総会旅行」「7月度例会」「12月度例会」を担当させて頂きました。キックオフとなる総会旅行ですが、新年度が始まり直ぐの事業でしたので理事会への上程方法への対応や親睦委員会の委員皆様への説明など細かく打ち合せを行う事が中々出来ませんでした。

然しながら、中島副会長や堀田室長によるアドバイスや的確なフォローを頂く事が出来、無事に開催出来た事に感謝でございます。初動の大切さと経験値の有る方々と如何にコミュニケーションを図り、情報収集が出来る態勢を作っておく事が肝要だと学びました。また、毎月1回必ず親睦委員会を開催し、出来るだけ多くのメンバーに集まって頂く事を念頭に入れ、出席率の向上を心掛けながら委員のメンバーが持っている素晴らしい可能性を探る事を行って参りました。

私が一番印象に残っている事業である「7月度例会」では、委員のメンバーが熱心に集まり、例会内容に向けて積極的に意見を出し取り組んで頂いた姿は、一生涯忘れる事が出来ませんが、台風11号の影響で異例の例会中止となってしまいましたが、危機管理及び防災の観点、物事には絶対は有り得な

い事を学ばせて頂きました。

此の「7月度例会」が異例の例会中止となったおかげで、委員のメンバーによる結束力が高まった効果が見受けられました。不完全燃焼だったエネルギーを「12月度例会」への準備作業に移行出来、委員のメンバーから様々な意見が活発に出てくる様になり大いに盛り上がりを見せる状態となりました。又、この時期、親睦委員会内での相互理解や協力関係もしっかりと構築でき、各位の個性が光りました。

「12月度例会」が無事成功する事ができ、大いに遣り遂げたという達成感に浸る事が出来たと思っております。会員の皆様が、「親睦は会員同士の顔が見える大事な機会であり、お互いをより理解する事が出来る」という事を実感して頂き、YEG活動において広めて頂ければ幸いです。

最後になりましたが至らぬ点が多々有る私を数多くの方々を支えて頂いた事に深く感謝申し上げます。有難うございました。



地域未来委員会 事業報告

地域未来委員会 委員長 岡田勇一

地域未来委員会では、平成27年度で7回目となる「ジュニアエコノミーカレッジ(略して以下「ジュニエコ」)」を開催しました。

地域の子どもたちが、起業体験を通して「自主性」「協調性」「創造性」を身につけながら、子どもたち自身が対応策を自ら決めて行動できる力を創り出す能力を養うことと共に、起業の難しさや面白さ(起業体験)を通して健全に成長し、困難を仲間とともに乗り越えることで精神的、人間的に成長することを狙いとします。

さらには、このジュニエコ運営を通じてこころを育てる体験をし、私たち自身も地域経済人としてさらに成長することを目指すという事業です。

平成27年は、地域の小学5・6年生を5人1チームとして応募をつのり、13チーム応募があった中から、当選した8チーム・総勢40人が参加してくれました。

運営にあたっては、前回に引き続き摂南大学生の8人にもPBL(Project-Based Learning、課題解決型学習)として応援していただき、活動のにぎわいに花を添えてくれました。

参加している子どもたちも、最初は気恥ずかしさを隠そうとしなかった様子でしたが、課題を乗り越えていくたび

に、自分が行動しなければ前に進まないと感じ、率先してチーム(会社)の中で動けるようになった子どもが多くなりました。

参加いただいた青年部メンバーにおいても、子どもたちの成長を強く感じたという意見を多くいただき、また自分が担当した子どもたちに感情移入してしまうというハプニングもありました。

販売実践は、11月15日(日)に寝屋川打上川治水緑地で行われたエコフェスタ会場内で行いました。一般来場者が多く、子どもたちも伸び伸びと笑顔で販売実践を楽しんでくれました。練りに練った宣伝POP、チーム統一の手作成のオリジナルユニフォームを着て、自分たちが考えた商品が完売したときの喜びが格別だったと思います。

まとめセミナー・表彰式においては、子どもたちの表情も最初の頃とは違い、発表する姿も見違えるようになりました。

いままでジュニエコをご覧になったことがない方も、ぜひ今年は見に来てください。



ジュニアエコノミーカレッジ in 北大阪 2015 受賞一覧

7月 参加者募集	
8月30日(日) 第1回セミナー、オープニングパーティー	
9月20日(日)~21日(月)祝	
第2回セミナー(合宿:事業計画作成、仮想銀行融資、仕入準備計画)	
11月15日(日) 販売実践(場所:寝屋川市打上川治水緑地、エコフェスタ会場内)	
11月22日(日) 第3回セミナー「まとめセミナー」、決算発表、表彰式	
12月上旬 納税(寄付)(場所:各市役所)	
8会社の総売上	270,790円
納税(寄付)金額	16,910円(枚方市11,100円、交野市5,810円)

行が一番できたで賞	株式会社 SASTRE X	(山之上小学校)
一番儲かったで賞	株式会社 MR Y	(東香里小学校)
ベストスマイル賞	株式会社 enjoy	(樟葉西小学校)
創意工夫賞	株式会社 natura	(藤阪小学校)
元気ハツラツ賞	株式会社 BOY'S	(五常小学校)
おもてなし賞	株式会社 えにふ	(交野小学校)
ベストドレッサー賞	株式会社 ブルースター	(交野小学校)
三ツ星賞	株式会社 あかね	(五常小学校)
学生賞	株式会社 enjoy	(樟葉西小学校)
会長賞	株式会社 natura	(藤阪小学校)
準グランプリ	株式会社 えにふ	(交野小学校)
グランプリ	株式会社 MR Y	(東香里小学校)

ビジネス創造委員会 事業報告

ビジネス創造委員会 委員長 田中 豪

今年度のビジネス創造委員会は、青年経済人としての資質向上を大きな目的として、特に会社運営上必要となる知識、技能の習得をテーマに事業を推進しました。

6月度例会におきましては、2016年から本格的に実施されるマイナンバー制度(社会保障・税番号制度)への対応に関し、社会保険労務士の神野沙樹先生をお招きしてご講演いただきました。テーマ的にすべての国民が対象となるため、北大阪商工会議所各部会との共催という設えで実施し、青年部メンバーだけではなく本会会員の皆様にも多数ご参加いただきました。マイナンバー制度についてはまだまだ周知されていなかったこともあり、参加された皆様には非常に興味をもっていただき、制度対応への準備としては非常に効果的なタイミングでの講義になったと思います。

また、青年部の新たな試みとして、ビジネスセミナーを3回実施させていただきました。第1回目は労務コンプライアンスに関すること、第2回目は税務会計に関すること、第3回目は法律問題に関することをテーマに、それぞれ青年部メ

ンバーの中から士業の講師をお招きして勉強しました。各回とも単に講義を聞くだけにとどまらず、質疑応答の時間を多くとり、活発なディスカッションが行えるようにいたしました。会社運営をしていく上で日頃から疑問に思われていることがたくさんあることが実感でき、またお互いに情報交換できたことは非常に有意義だったと思います。



渉外委員会 事業報告

渉外委員会 委員長 橋内英樹

渉外委員会は対外機関との積極的な渉外交流活動を推進するために設けられた委員会です。対外機関との交流活動を通じて北大阪YEGの活動を外部に発信すると共に、他団体の優れた活動や取組などの情報を我が単会へフィードバックすることで単会の更なる発展と活性化を目的として一年間活動しました。

OB会との交流事業では北大阪YEGを創り上げてきた諸先輩方との交流を通して他では聞けない貴重な体験や考えを聞くことができ、我々現役メンバーの今後に役立つ学びのある事業になりました。全国大会、近畿ブロックでは北大阪YEGをいろいろな地域の方々に広く知っていただき、また他ではなかなか経験できないような貴重な時間を共にする事で単会メンバー各自の絆を深める事ができました。2月度志青会合同例会では、各単会の垣根を越えた交流、チームワークを築くためにキンボールという競技を実施致しました。

私自身一年間たくさんの方々に支えられ何とか無事に活動を終える事ができました。ありがとうございました。



広報委員会 事業報告

広報委員会 委員長 鎌田貴好

本年、広報委員会では、広報誌「The NORTH」内の「青翔」では、北大阪YEGの情報を多彩な角度やさまざまな切り口を用いて多くの方々へ発信いたしました。また、関係諸団体や本会からの情報を収集し、北大阪YEGメンバーの企業に役立つ内容を発信することが出来ました。

WEBでは、沢山の方々に閲覧していただくためにリアリティーのある情報を提供し、更新頻度を上げることに力を入れ、SEO対策の強化をおこないました。新しい周知方法としてSNS等を利用することにより、YEG活動または関係諸団体の情報を迅速且つ、多くの情報を発信することが出来ました。このことで北大阪YEGメンバーへの事業周知に繋がりました。参加意識が向上したと考えます。

担当例会では多くの情報が取り巻く現在、情報の収集や活用方法、発信側や受信側など、さまざまな視点から、形にこだわらないテーマ：「『みせかた』～デキる経営者の魅せ方メ

ソッド～」を開催いたしました。当日は参加者によりよく伝わるようパネルディスカッション方式でおこない、各講師の特徴を生かした質問やメンバー(青年経済人)が各会社の広告塔、顔となるよう『みせかた』のデモンストレーションも取り入れながらの例会となりました。

以上を実践することでこれまでにない北大阪YEG活動の発信となり、メンバーの人とひととの繋がりを創造する環境ができ、組織の団結、結束に繋がったと考えます。

最後に、大変、ご理解とご協力いただきました室長、専務ありがとうございました。

そして、一番協力頂きました、委員会メンバーの皆様、本当にありがとうございました。

